

IV. 主要部位別罹患と死亡率の比較

男女計の罹患と死亡（人口動態統計による）について、数、粗率、年齢調整率を対比するとともに、罹患数の死亡数に対する比（I/M）及び死亡数の罹患数に対する比（M/I）を示した（表 6）。なお、外国人については罹患数集計では除外していないが、死亡数は外国人を除外した数値である。

届出の精度を示す第二の指標である全部位の IM 比は 2.59 であった。

部位別の IM 比は生存率の相対的な高低を示唆するものであるが、皮膚（19.05）、喉頭（7.80）、子宮（6.39）、前立腺（6.32）、乳房（6.20）が高かった。

表6 罹患数及び死亡数、粗率、年齢調整率（人口10万対）及び罹患数と死亡数の比：主要部位別、男女計 2012年

	数		粗率		年齢調整率 ^(*)		罹患数 ／死亡数 (IM比)	死亡数 ／罹患数 (MI比)
	罹患(I)	死亡(M)	罹患(I)	死亡(M)	罹患(I)	死亡(M)		
全部位	14,531	5,616	750.3	290.0	399.4	120.1	2.59	0.39
口腔・咽頭	256	105	13.2	5.4	8.1	2.6	2.44	0.41
食道	386	190	19.9	9.8	10.5	4.9	2.03	0.49
胃	2,085	772	107.7	39.9	51.8	16.4	2.70	0.37
大腸	2,269	619	117.2	32.0	60.5	13.4	3.67	0.27
┌ 結腸	1,446	425	74.7	21.9	36.8	8.7	3.40	0.29
└ 直腸	823	194	42.5	10.0	23.7	4.8	4.24	0.24
肝臓	717	524	37.0	27.1	16.4	11.0	1.37	0.73
胆嚢・胆管	347	266	17.9	13.7	6.4	4.6	1.30	0.77
膵臓	552	487	28.5	25.1	12.3	10.9	1.13	0.88
喉頭	78	10	4.0	0.5	2.1	0.2	7.80	0.13
肺	1,740	1,171	89.8	60.5	41.1	23.6	1.49	0.67
皮膚 ^(*)	362	19	18.7	1.0	7.3	0.3	19.05	0.05
乳房	1,172	189	60.5	9.8	44.9	5.8	6.20	0.16
子宮	543	85	28.0	4.4	26.6	2.4	6.39	0.16
卵巣	131	67	6.8	3.5	4.9	1.7	1.96	0.51
前立腺	1,226	194	63.3	10.0	29.3	3.0	6.32	0.16
膀胱	618	119	31.9	6.1	14.2	1.9	5.19	0.19
脳・神経系	210	37	10.8	1.9	7.1	1.1	5.68	0.18
悪性リンパ腫	462	164	23.9	8.5	12.7	3.3	2.82	0.35
白血病	145	122	7.5	6.3	5.4	2.8	1.19	0.84
年齢調整率 ^(*) ：標準人口は1985年日本人モデル人口を用いた。								
皮膚 ^(*) ：皮膚の黒色腫を含む								

2012年における特定部位の罹患数と死亡数を男女別に比較した（図17、18）。

男では罹患数4位、女では罹患数5位の肺が死亡数ではともに1位であった（付表11、12、22、23）。

生存率を反映するIM比は男の前立腺（6.3）、女の子宮（6.4）、乳房（6.2）が高く、これらの部位は予後が比較的良好と考えられる。

図17 罹患数及び死亡数2012年<特定部位>—男—

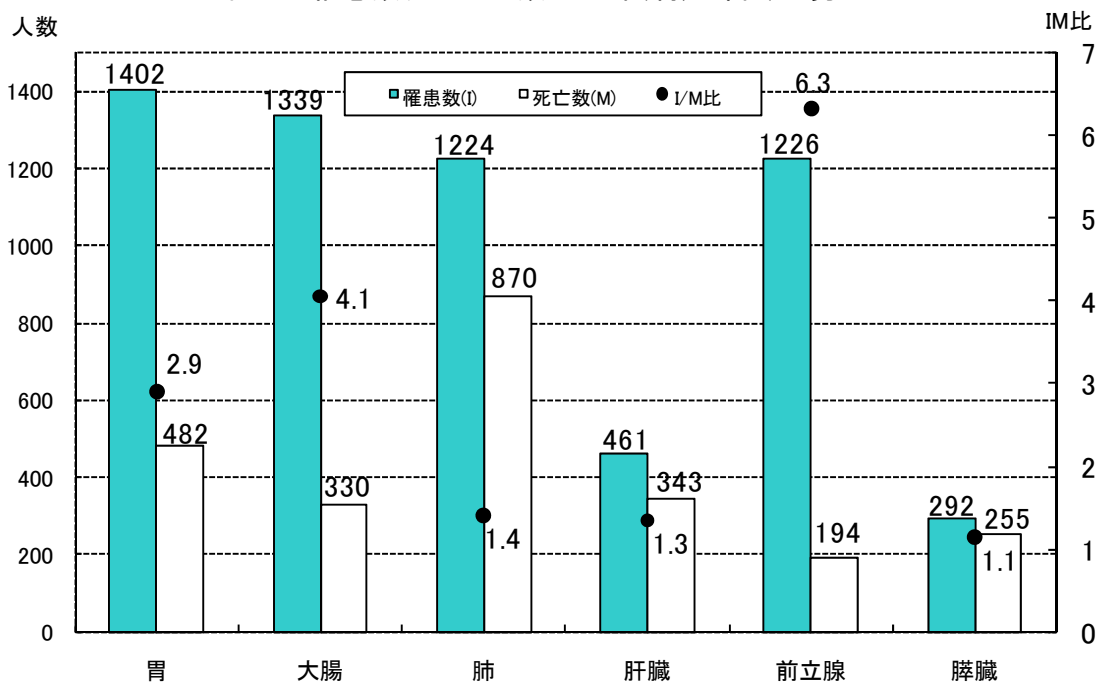


図18 罹患数及び死亡数2012年<特定部位>—女—

